

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名			ニットコース				
分類	必修	○	選択		配当学年	3	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C301	商品プランニングⅡ							30				
担当教員	上山 恵加				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	イタリアの服飾専門学校で学び、その後アシスタントデザイナーとしてミラノコレクションに参加。その後日本のアパレルデザイナー職を経て教員として入職。授業ではイタリアで学んだ知識を生かしデザイン発想や、様々な視点でのリサーチを行い、企業とのコラボレーション企画などを通し商品企画につなげている。										
講義目的												
リサーチ方法や企画提案力を応用し、就職先企業に向けた商品企画を提案する。 ポートフォリオの作成。 ニット展に向けてのデザイン提案。												
授業内容												
アパレル業界に必要なノウハウを応用し、企業に合った企画力を身につける。 就職先企業をリサーチ、各ブランドに向けてのデザインを提案、ポートフォリオにまとめ就職活動用の資料を作成する。 ニット展へ向けて、手編み、機械編みの技術を応用したデザイン提案をする。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	15	就職先企業研究及び企画提案					<ul style="list-style-type: none"> ・企業分析 ・ターゲット分析 ・ショップリサーチ ・社会情勢、トレンドリサーチ ・コンセプト設定 ・デザイン提案 ・素材リサーチ ・ポートフォリオ作成 					
2	15	ニット展にむけたデザイン企画					<ul style="list-style-type: none"> ・テーマリサーチ ・コンセプト、ターゲット設定 ・デザイン展開 ・アート資料リサーチ ・ディテールリサーチ ・編み地研究 ・デザイン確定、作成 					
留意事項												
各項目講義を実施し、企画立案・ポートフォリオを作成する。 欠席した場合は次回の授業までに課題を終わらせておくことが必須。												
教材												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
各就職先に向けた企画の提案力を身につける。卒業制作に向け、トレンドや社会情勢を意識したデザインの立案。				就職先に向けたデザイン、ポートフォリオ作り。トレンドや社会情勢など各項目をマップにまとめデザインを発想する。				取組姿勢		30%		
								提出物/期限遵守		40%		
								習熟度(到達目標に対して)		30%		

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名			ニットコース				
分類	必修	○	選択		配当学年	3	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C301	商品プランニングⅡ							30				
担当教員	上山 恵加				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○ イタリアの服飾専門学校で学び、その後アシスタントデザイナーとしてミラノコレクションに参加。その後日本のアパレルデザイナー職を経て教員として入職。授業ではイタリアで学んだ知識を生かしデザイン発想や、様々な視点でのリサーチを行い、企業とのコラボレーション企画などを通し商品企画につなげている。											
講義目的												
卒業作品展に向け、トレンドや社会情勢を分析し、デザインを発想し作成する。コーディネート力や見せ方、演出の仕方を考え表現力を身につける。												
授業内容												
今求められる新しさのあるデザインを発想、表現。チームワークを学ぶ。デジタルツールを使用し、HPやブランドブックを作成することにより視覚的演出力を習得させる。コーディネートや見せ方、演出などの表現力を身につける。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
3	30	卒業制作					<ul style="list-style-type: none"> ・テクニック確認 ・トワルチェック ・デザイン修正 ・ブランドブックラフ画作成 ・撮影打ち合わせ ・ブランドブック作成 ・ポスター作成 ・アクセサリー、小物確認 ・コーディネートチェック ・演出決定 					
留意事項												
各項目講義を実施し、企画立案・企画書を作成させる。 欠席した場合は次回の授業までに課題を終わらせておくことが必須。												
教材												
最終到達目標												
学習法												
評価方法及び評価割合												
卒業制作に向け、トレンドや社会情勢を意識したデザインの作成、DTPを使いホームページなど視覚的演出力を身につける。		デザイン発想したものをトータルコーディネートで表現。またポスターやホームページを作成しビジュアル化させる。					取組姿勢			30%		
							提出物/期限遵守			40%		
							習熟度(到達目標に対して)			30%		

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名			ニットコース				
分類	必修	○	選択		配当学年	3	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C302	パターンプロダクトⅢ							60				
担当教員	真脇 郁子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○ 教員歴38年間をパターンメイキングの指導に従事、その経験を多種多様なデザインパターンに平面と立体で対応できる技術を指導する。											
講義目的												
専門職として仕事内容の理解を深め、特殊素材の専門知識や特殊パターンの手法を学び、素材特性を考えたパターン技術を身につけ応用へと繋げる。												
授業内容												
就職対策として製図実技と変形袖のパターン原理を学ぶ。特に編み地の風合いと伸び率を関連させたニットパターンをセーターとニット展の課題で実習する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	4	就職対策実技					ブラウスを題材にパターンからトワール組立ての実技模擬試験					
2	4	就職対策実技					ワンピースを題材にパターンからトワール組立ての実技模擬試験					
3	4	変形袖					キモノスリーブの製図法(5種)					
4	2	コルセット					コルセットの製図法					
5	1	ニットスローパー					ニット原型の製図法					
6	11	デザインセーター					原型を使用してのシルエット別パターン操作					
							パターンメイキング実習					
							トワール裁断から組立て、トワールチェック パターン修正、完成パターン、工業用パターン					
7	34	ニット展					デザイン別パターン操作					
							パターンメイキング実習					
							トワール裁断から組立て					
							第1回着用トワールチェック					
							パターン修正、確認、トワール再組立て					
							第2回着用トワールチェック、パターン修正 完成パターン、工業用パターン作成 中間衣装チェック					
留意事項												
ニット課題のパターンメイキングの実習をする時は編み地のサンプルを準備する。												
教材												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
編み地の風合いと伸び率をパターンの形状に表現出来る。				講義 課題作成				提出物/時間厳守		70%		
								取組姿勢		10%		
								習熟度(到達目標にたいして)		20%		

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名			ニットコース					
分類	必修	○	選択		配当学年	3	年	学期	前期		後期	○	
講座コード	授業科目名							授業時間数					
C302	パターンプロダクトⅢ							90					
担当教員	真脇 郁子				科目区分	講義		演習	○	実習			
実務経験のある教員等による授業科目	○ 教員歴38年間をパターンメイキングの指導に従事、その経験を多種多様なデザインパターンに平面と立体で対応できる技術を指導する。												
講義目的													
専門職として仕事内容の理解を深め、特殊素材の専門知識や特殊パターンの手法を学び、素材特性を考えたパターン技術を身につけ応用へと繋げる。													
授業内容													
3年間で学んだ知識を最大限に活かした卒業作品グループブランドの制作。													
授業計画及び学習課題													
項目	回数	内容					学習課題						
1	12	卒業作品グループブランドコレクション					シルエット及びデザインパターン作成						
2	10	卒業作品グループブランドコレクション					モデルトワールチェック						
3	46	卒業作品グループブランドコレクション					デザインパターンへの展開						
4	10	卒業作品グループブランドコレクション					モデルトワールチェック						
5	12	卒業作品グループブランドコレクション					工業用パターン作成						
留意事項													
教材													
最終到達目標													
学習法													
評価方法及び評価割合													
3年間で習得した様々な製図法を応用に繋げ、デザインと素材、パターンのマッチングやデザインバランス・シルエットバランスを見る力を養う。					課題作成					提出物/時間厳守			70%
										取組姿勢			10%
										習熟度(到達目標にたいして)			20%

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名			ニットコース				
分類	必修	○	選択		配当学年	3	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C317	ニット造形Ⅱ							60				
担当教員	下岸 貴美子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目		○	OEM(相手先ブランドの企画・生産)メーカーでサンプルメーカーとして勤務。授業では、デザイナーの世界観を表現するため特殊素材やニット企画、編立等を研究し、学生独自の世界観を引き出しアート感覚なクリエイティブ作品制作を指導。									
講義目的												
SDS-ONE APEXを用いて編地データを作成し、自動横編機（SES）で編立てを行いながらニットの特性とデザイン性を学ぶ。作品制作を通し、ニットデザイナーとしてのデザイン力を養うとともに、ニットアパレルの動向と生産工程について理解を深めニットの専門知識や技術を修得する。												
授業内容												
ニットの基礎知識、編機の基本操作を修得し、成型編、ジャカード編の編立ができる。ニットアパレル企業のブランド分析を行ない、企業に提案するニットセーターのデザイン出しから編み立て、作品制作まで行いポートフォリオまとめに就職活動でのPR書類作成を行う。自身の世界観をニットのデザインに落とし込みアート感あるニット作品を制作。島精機製作所本社見学及びニットアパレル企業の特別講義を行う												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	編地の分類					基本編地の種類					
2	4	ニット特別講義					ニットの歴史 ニットアパレルの動向、生産工程					
3	4	校外学習					島精機製作所本社見学					
4	4	編み機の基礎					<ul style="list-style-type: none"> ・SESとSDSの関係性 ・基本編地のデータ作成 ・編み機の糸のかけ方 ・基本編地の編み立て操作方法 					
5	6	デザインニット					<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン分析シートの作成 ・柄データを作成し、SESで編地を作成 					
6	10	ニット展					<ul style="list-style-type: none"> ・デザインプレゼンテーション ・デザインからの編地検討 ・柄データを作成し、SESで編地を作成 ・編地の裁断と縫製 					
留意事項												
機械操作やデータ作成は復習を繰り返すことで理解力が高まる。												
教材												
最終到達目標												
学習法												
評価方法及び評価割合												
作品制作を通し、ニットデザイナーとしてのデザイン力を養うとともに、ニットアパレルの動向と生産工程について理解を深めニットの専門知識や技術を修得する。		講義 課題作成		提出物				70%				
				取り組み姿勢				20%				
				習熟度(到達目標に対して)				10%				

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名			ニットコース				
分類	必修	○	選択		配当学年	3	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C317	ニット造形Ⅱ							60				
担当教員	下岸 貴美子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	OEM(相手先ブランドの企画・生産)メーカーでサンプルメーカーとして勤務。授業では、デザイナーの世界観を表現するため特殊素材やニット企画、編立等を研究し、学生独自の世界観を引き出しアート感覚なクリエイティブ作品制作を指導。										
講義目的												
SDS-ONE APEXを用いて編地データを作成し、自動横編機 (SES) で編立てを行いながらニットの特性とデザイン性を学ぶ。作品制作を通し、ニットデザイナーとしてのデザイン力を養うとともに、ニットアパレルの動向と生産工程について理解を深めニットの専門知識や技術を修得する。												
授業内容												
卒業作品発表に向け、ニットコースの特徴を活かし、新しさのあるニットデザインの発想、表現やチームワークを学びながらグループブランド8スタイリングを制作												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	30	卒業作品制作 グループブランド ニット作品8スタイリング作成					<ul style="list-style-type: none"> ・グループブランドプレゼンテーション ・ブランドのオリジナル柄を作成 ・パターン用スイッチ編地の編み立て ・パターンに合わせた編地データ作成と編み出し 					
留意事項												
機械操作やデータ作成は復習を繰り返すことで理解力が高まる。												
教材												
最終到達目標												
学習法												
評価方法及び評価割合												
作品制作を通し、ニットデザイナーとしてのデザイン力を養うとともに、ニットアパレルの動向と生産工程について理解を深めニットの専門知識や技術を修得する。		講義 課題作成		取り組み姿勢				20%				
				グループワーク				80%				

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名			ニットコース					
分類	必修	○	選択		配当学年	3	年	学期	前期	○	後期		
講座コード	授業科目名							授業時間数					
C318	ニットクリエイション編み立て							30					
担当教員	中村 紗希				科目区分	講義		演習	○	実習			
実務経験のある教員等による授業科目	○	アパレルメーカーでデザイナーとして勤務。インナーやアウター、ボトムスまで多種多様なアイテムをトータルコーディネートで企画。実務経験を生かし、授業では商品知識やコーディネートテクニックの基礎知識を身につける。											
講義目的													
SDS-ONE APEXを用いて編地データを作成し、自動横編機（SES）で編立てを行いながらニットの特性とデザイン性を学ぶ。作品制作を通し、ニットデザイナーとしてのデザイン力を養うとともに、ニットアパレルの動向と生産工程について理解を深めニットの専門知識や技術を修得する。													
授業内容													
ニットの基礎知識、編機の基本操作を修得し、成型編、ジャカード編の編立ができる。 ニットアパレル企業のブランド分析を行ない、企業に提案するニットセーターのデザイン出しから編み立て、作品制作までを行いポートフォリオにまとめ、就職活動でのPR書類作成を行う。自身の世界観をニットのデザインに落とし込みアート感あるニット作品を制作。													
授業計画及び学習課題													
項目	回数	内容					学習課題						
1	2	編み機の基礎					SESとSDSの関係性						
2	2	編み機の基礎					基本編地のデータ作成						
3	2	編み機の基礎					編み機の糸のかけ方						
4	2	編み機の基礎					基本編地の編み立て操作方法						
5	2	デザインニット					デザイン分析シートの作成						
6	2	デザインニット					ニット柄のデータ作成						
7	2	デザインニット					編み立て及びデータ修正						
8	2	ニット展					デザインプレゼンテーション						
9	2	ニット展					デザインからの編地検討						
10	6	ニット展					データ作成及び編み立て						
11	6	ニット展					データ修正と編み立て本番						
12	2	編み機の応用					成型編みとは						
13	2	編み機の応用					データ作成と編み出し						
14	2	編み機の応用					ホールガーマントとは						
15	2	編み機の応用					データ作成と編み出し						
留意事項													
機械操作やデータ作成は復習を繰り返すことで理解力も高まる。 時間外の取り組みも大切。													
教材													
最終到達目標													
学習法													
評価方法及び評価割合													
作品制作を通し、ニットデザイナーとしてのデザイン力を養うとともに、ニットアパレルの動向と生産工程について理解を深めニットの専門知識や技術を修得する。					講義 課題作成					取り組み姿勢			50%
										習熟度(到達目標に対して)			50%

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名			ニットコース				
分類	必修	○	選択		配当学年	3	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C318	ニットクリエイション編み立て							30				
担当教員	中村 紗希				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	アパレルメーカーでデザイナーとして勤務。インナーやアウター、ボトムスまで多種多様なアイテムをトータルコーディネートで企画。実務経験を生かし、授業では商品知識やコーディネートテクニックの基礎知識を身につける。										
講義目的												
SDS-ONE APEXを用いて編地データを作成し、自動横編機（SES）で編立てを行いながらニットの特性とデザイン性を学ぶ。作品制作を通し、ニットデザイナーとしてのデザイン力を養うとともに、ニットアパレルの動向と生産工程について理解を深めニットの専門知識や技術を修得する。												
授業内容												
作品発表に向けて、ニットコースの特徴を活かしたグループブランド作品を8スタイリング制作												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	30	卒業作品制作 グループブランド ニット作品8スタイリング作成					<ul style="list-style-type: none"> ・グループブランドプレゼンテーション ・ブランドのオリジナル柄を作成 ・パターン用スイッチ編地の編み立て ・パターンに合わせた編地データ作成と編み出し 					
留意事項												
機械操作やデータ作成は復習を繰り返すことで理解力も高まる。 時間外の取り組みも大切。												
教材												
最終到達目標												
学習法												
評価方法及び評価割合												
作品制作を通し、ニットデザイナーとしてのデザイン力を養うとともに、ニットアパレルの動向と生産工程について理解を深めニットの専門知識や技術を修得する。		講義 課題作成		取り組み姿勢				50%				
				習熟度(到達目標に対して)				50%				

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	3	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C315	就職対策Ⅱ							15				
担当教員	下岸 貴美子				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目												
講義目的												
就職活動で行われる実技試験や面接に対応できる力を養う												
授業内容												
まず初めにアパレル技術職の就職活動におけるスケジュールと提出書類について理解する。その上で、過去に実際の企業で行われた実技試験を模擬的に行い技術力を養う。後半は、面接対策として実際の面接を想定した模擬面接を繰り返しコミュニケーション能力の醸成、面接試験を突破できる能力を育成する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	オリエンテーション					就職活動のスケジュールや採用で重視されるポイント					
2	2	グループディスカッション					それぞれのアピールポイントについて 面接における第一印象について					
3	1	模擬試験					アパレル企業の実技模擬試験(デザイン)					
4	2	プレゼンテーション					企業を想定した企画案のプレゼンテーション 企業を想定した企画案のプレゼンテーション					
5	4	模擬面接					就職活動における面接を意識した模擬面接					
6	1	ディスカッション					現在までの就職活動を振り返って					
7	4	模擬面接					就職活動における面接を意識した模擬面接					
留意事項												
教材												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
就職活動で行われる実技試験を効率的にこなす事ができる。模擬面接を通して、自分の考えやアピールポイント、作品について伝えることができるようになる。				講義・グループワーク・実習				定期課題			100%	

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名			ニットコース				
分類	必修	○	選択		配当学年	3	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C316	卒業制作							60				
担当教員	下岸 貴美子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	OEM(相手先ブランドの企画・生産)メーカーでサンプルメーカーとして勤務。授業では、デザイナーの世界観を表現するため特殊素材やニット企画、編立等を研究し、学生独自の世界観を引き出しアート感覚なクリエイティブ作品制作を指導。										
講義目的												
3年間の集大成としてニットコースで学んだ知識や技術を活かし、グループでブランドを立ち上げショー形式で発表する。グループで話し合い、トレンドや社会情勢を分析し、デザインを発想し作成。コーディネート力や見せ方、演出の仕方を考え表現力を身につけると共に各自の責任感やコミュニケーション力を身につける												
授業内容												
今求められる新しさのあるデザインを発想、表現。チームワークを学ぶ。 デジタルツールを使用し、ホームページやブランドブックを作成することにより視覚的演出力を習得させる。コーディネートや見せ方、演出などの表現力を身につける。 作業内容を分担し8スタイリングを制作する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	8	卒業制作(企画・デザイン)					・デザイン出し ・デザイン修正 ・テクニク作成					
2	24	卒業制作(製図)					・パターン作成・トワール組み立て ・トワールチェック					
3	10	卒業制作(縫製)					・縫製始末ファイル作成 ・スタイリング縫製					
4	8	卒業制作(撮影・映像)					・ブランドブックラフ画作成 ・撮影打ち合わせ ・ブランドブック作成 ・ポスター作製 ・ルックブック撮影 ・審査会写真撮影 ・ヘアメイク打ち合わせ					
5	6	卒業制作(コーディネート)					・アクセサリー、小物確認 ・コーディネートチェック					
6	4	卒業制作(練習)					・着せ付け練習					
留意事項												
グループ内での意思疎通を図りスケジュール管理しながら作業を行う												
教材												
各教科授業での配布資料及びテキスト												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
卒業制作に向け、トレンドや社会情勢を意識したグループブランドを立ち上げ発表する				演習 口頭発表				グループワーク		80%		
								作品完成度		20%		

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名			ニットコース				
分類	必修	○	選択		配当学年	3	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C319	ニット生産							30				
担当教員	下岸 貴美子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	OEM(相手先ブランドの企画・生産)メーカーでサンプルメーカーとして勤務。授業では、デザイナーの世界観を表現するため特殊素材やニット企画、編立等を研究し、学生独自の世界観を引き出しアート感覚なクリエイティブ作品制作を指導。										
講義目的												
ニットデザイナーとしてのデザイン力を養うとともに、ニットアパレルの動向と生産工程について理解を深め、ニットの専門知識や技術を修得する。												
授業内容												
ニットの基礎知識、編機の基本的な縫製法を学ぶ。ニットアパレル企業のブランド分析を行ない、企業に提案するニットセーターのデザイン出しから編み立て、作品制作まで行いポートフォリオまとめに就職活動でのPR書類作成を行う。自身の世界観をニットのデザインに落とし込みアート感あるニット作品を制作。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	3	カット素材の扱い方(レギンス)					<ul style="list-style-type: none"> ・ニット素材の裁断から縫製 ・特殊ミシンの使用方法 					
3	4	編地素材の縫製部分縫い					<ul style="list-style-type: none"> ・ロック始末、本縫い始末の方法 ・パイピング始末の方法 2種類 ・リブ始末の方法 ・ファスナー付けの方法 					
4	4	デザインニット					<ul style="list-style-type: none"> ・編地の地直しから裁断 ・身頃縫製・袖縫製 ・指図書の描き方 					
5	4	ニット展					<ul style="list-style-type: none"> ・柄データを作成し、SESで編地を作成 ・編地の裁断と縫製 					
留意事項												
機械操作やデータ作成は復習を繰り返すことで理解力が高まる。												
教材												
最終到達目標												
学習法												
評価方法及び評価割合												
作品制作を通し、ニットデザイナーとしてのデザイン力を養うとともに、ニットアパレルの動向と生産工程について理解を深めニットの専門知識や技術を修得する。		講義 課題作成		提出物				70%				
				取り組み姿勢				20%				
				習熟度(到達目標に対して)				10%				

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名								
分類	必修	○	選択		配当学年	3	年	学期	前期	○	後期		
講座コード	授業科目名							授業時間数					
C306	グラフィックデザインⅡ							15					
担当教員	土井 奈緒子				科目区分	講義		演習	○	実習			
実務経験のある教員等による授業科目	○	国内外の婦人服・水着デザイナーとして大手アパレルメーカーに勤務。授業では、デザイン企画に特化したグラフィックデザインソフトの基本や応用操作の指導を行う。											
講義目的													
アパレル業界で標準的に使われている「Adobe Illustrator・Photoshop」操作の基本と活用方法を学び、スキル向上をはかる。													
授業内容													
Adobe Illustrator・Photoshopを使用し、ファッションに関連した教材を使って、段階的に操作方法を身に付け、アパレル業界で行われる各種作業に対応する活用力を身に付ける。													
授業計画及び学習課題													
項目	回数	内容					学習課題						
1	1	Photoshop・Illustrator復習					図形作成、描画方法を学ぶ						
2	1	Illustrator・ペンツール練習					図形を使ってピクトグラムをデザインする						
3	1	Illustrator・ペンツール練習					ペンツールの操作を学ぶ①						
4	1	Illustrator・課題					ファッションブランドのロゴをトレースする						
5	1	Illustrator・テキストについて					文字入力、文字組みを学ぶ						
6	1	Illustrator・ハンガーイラスト					ペンツールの操作を学ぶ②						
7	1	Illustrator・ハンガーイラスト					ファッションアイテムをペンツールで作成する						
8	1	Illustrator・ハンガーイラスト					ファッションアイテムを着色する						
9	1	Illustrator・ハンガーイラスト					パターン帳にまとめ、説明を加える						
10	1	Illustrator・パターン					柄作成方法を学ぶ						
11	1	Illustrator・パターン					トレンド情報からモチーフを考える						
12	1	Illustrator・課題					モチーフから柄へ展開する						
13	1	Illustrator・課題					柄を使ったアイテム作成、提案書にまとめる						
14	1	Illustrator・プレゼンテーション					作成した内容をプレゼンテーションする						
15	1	総復習					前期の振り返り、必要に応じた補講						
留意事項													
基本操作を覚える為、繰り返し練習と復習をする。 欠席した場合、次の授業時間までに自習しておくこと。 雑誌や広告における様々な画像加工やデザインに興味を向ける事を習慣づける。													
教材													
最終到達目標													
学習法													
評価方法及び評価割合													
Adobe Illustrator・Photoshopを操作して、スタイル画の着色、カラー、素材の違いなども効率よく表現できる。				演習				提出物/期限遵守			90%		
								取組姿勢			10%		

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	3	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C306	グラフィックデザインⅡ							15				
担当教員	土井 奈緒子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	国内外の婦人服・水着デザイナーとして大手アパレルメーカーに勤務。授業では、デザイン企画に特化したグラフィックデザインソフトの基本や応用操作の指導を行う。										
講義目的												
アパレル業界で標準的に使われている「Adobe Illustrator・Photoshop」操作の基本と活用方法を学び、スキル向上をはかる。												
授業内容												
Adobe Illustrator・Photoshopを使用し、ファッションに関連した教材を使って、段階的に操作方法を身に付け、アパレル業界で行われる各種作業に対応する活用力を身に付ける。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	Illustrator					イラストレータにおける表組み方法					
2	1	Illustrator・仕様書作成					仕様書を作成する					
3	1	Illustrator・資料作成					ブランドプレゼンの資料を準備する					
4	1	Illustrator・プレゼンテーション					ブランドごとにプレゼンテーションを行う					
5	1	Illustrator・DTP					VI概要、ロゴデザインの基本を学ぶ					
6	1	Illustrator・DTP					ロゴを商品タグやショッパーに展開する					
7	1	Illustrator・DTP					名刺・ショッカードをデザインする					
8	1	Illustrator・DTP					紙媒体におけるデザインの基本を学ぶ					
9	1	Illustrator・卒業制作(フライヤー)					卒業作品発表会のフライヤーをデザインする					
10	1	Illustrator・卒業制作(DM)					卒業作品発表会のDMをデザインする					
11	1	Illustrator・卒業制作(ロゴ)					自己ブランドのロゴをデザインする					
12	1	Photoshop・画像補正					フォトショップにおける色補正方法					
13	1	Photoshop・画像補正					フォトショップにおけるレタッチ方法					
14	1	Photoshop・卒業制作データ					ブランドフォト、タペストリーのデータ作成					
15	1	総復習					前期の振り返り、必要に応じた補講					
留意事項												
基本操作を覚える為、繰り返し練習と復習をすること。 欠席した場合、次の授業時間までに自習しておくこと。 雑誌や広告における様々な画像加工やデザインに興味を向ける事を習慣づける。												
教材												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
Adobe Illustrator・Photoshopを操作して、マップやポートフォリオに活用できる表現方法やデザイン、レイアウトができる。				演習				提出物/期限遵守		90%		
								取組姿勢		10%		